

令和6年8月 市長定例記者会見

日時：令和6年8月2日（金） 11：00～

場所：庁議室

本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。
それでは、令和6年8月定例記者会見を始めます。

はじめに、いよいよ明後日8月4日（日）から始まる五所川原立佞武多に関連する情報をお知らせいたします。

8月7日（水）に実施される「全国高校生1億円プロジェクト」、通称「億プロ」についてですが、これは、ビジネスの手法を用いて地域課題の解決に取り組む高校生が全国から集まれる仕組みづくりを企画・運営する活動です。

当日は、県内外から約100名の学生が当市に集まり、高校生たちが自分たちで開発した商品などを「ごしょがわらめじゃ～ストリート」で販売するほか、曳き手としても祭りへ参加し、立佞武多を盛り上げます。

現在は、必要な資金を調達するためにクラウドファンディングにも挑戦しており、返礼品として「オリジナルTシャツ」をお返ししておりますので、ご興味のある方は、クラウドファンディングサイト「キャンプファイア」又は商工観光課までお問い合わせいただければ、企画・運営団体へとお繋ぎいたします。

また、立佞武多まつり期間中の8月7日・8日の2日間、市役所庁舎敷地内のまつり本部横に「拾い箱」を設置します。

「拾い箱」とは、通常のごみ箱とは異なり、もともとは海岸清掃などで拾ったごみを捨てられる箱のことで、この「拾い箱」を設置して、誰でもいつでも気軽にごみ拾いができる仕組みをつくらうという目的で始まっています。

現在では、全国各地に取組が広がっており、イベントとのコラボで設置されるほか、通年で利用できるものも設置され始めています。

今回は、五所川原市立三輪小学校の4年生35名が製作した「拾い箱」を設置しますので、まつりを見ながらでも、ごみが落ちていたら拾っていただき、「拾い箱」へ捨てていただきますようお願いいたします。

次に、「金木地域自治体ライドシェア」の実証運行についてお知らせいたします。

先だって、県から報道発表がありましたとおり、県が募集していた「アオモリ モビリティ シェアモデル的実証運行業務」の委託先として、本市が選定されました。

運行内容の詳細についてはお配りの資料のとおりですが、こちらのポイントといたしまして、現在タクシー事業者が不在となっている金木地域において、五所川原地域のタクシー事業者が予約型乗合タクシーを週2日運行していますが、令和6年10月から、地元の商工会が運行事業者として、平日週5日運行する形となり、これまで以上に利便性が高い金木地域住民の生活の足を確保するものです。

そして何よりも「地域の課題を地域住民が協力して解決する」という、まちづくりの基本理念に合致したモデル的な取組であり、大いに期待するものですので、病院や買い物に向かう際には是非ご利用いただければと思います。

最後に、「認知症フォーラム」についてお知らせいたします。

9月14日（土）11時30分から、オルテンシアにおいて、「五所川原市認知症フォーラム」を開催します。

「認知症フォーラム」は、市民の皆さんが認知症について理解を深め、認知症の方も暮らしやすい地域づくりを目指して、平成26年度より開催しており、今年で11年目になります。

今年のテーマは「認知症と共に生きていく」としております。

今年は、地域の担い手である若い世代にも興味を持っていただけるよう、青森県認知症ピアサポーターによる実体験のご講演、認知症の方に関わる専門職が認知症に関する様々な疑問にお答えするシンポジウム、医療職や介護職などの団体による展示・体験・相談コーナーを設けています。これにより、専門職の活動や支援内容を紹介します。

さらに、地元出身のボーカルユニット「ライスボール」にご参加いただき、「認知症とお口の健康クイズ」を通じて、参加者と一緒に学べる内容となっています。加えて、寸劇を通じて、認知症の知識や相談場所、認知症ケアについても楽しく学べるプログラムを用意しています。

認知症フォーラムの定員は1,000人で、申し込まれた方には入場券を事前にお送りいたしますが、当日券も多数準備してございますので、たくさんの方にお越しいただきたいと思っております。

以上となりますが、記者の皆さまには、当市の情報発信へのご協力をよろしくお願いいたします。